

【質問】

(質問者：吉田委員)

平成26年度から採用されている学校選択制は、児童生徒の学校教育に対する「選ぶ権利」を拡充するものであり、一定の方々に利用していただいていると思います。地理的な通いやすさや環境の充実度など理由は様々ですが、年度や学年、地域によって様々な評判が飛び交い、保護者とその子どもの選択に大きく影響を与えていることだと思います。

そこで、選択者数の少ない、あるいは校区からの流出が多かった学校、そしてその逆について、区はどのように状況を分析して、良くない部分を具体的に改善したり、良い部分を継続しているのか、そしてそれをどのように保護者は知ることが出来るのでしょうか？

回答

学校選択制に関しては、毎年度、教育委員会事務局が「新入生の就学に関するアンケート」を実施し、その結果を本市ホームページに掲載しています。

今年度は、学校選択制開始から8年間のアンケート調査などをもとに市全体の検証を実施することになっています。

また、校区外を選択した児童が多い学校については、状況を学校や地域へフィードバックし、学校協議会等において対策を話し合っていました。

区としましては、保護者に学校への関心やつながりをより一層強めていただき、児童・生徒に充実した学校生活を送っていただけるよう、各学校の魅力をわかりやすくお伝えすることが重要だと考えており、学校案内の配付や学校説明会の開催により各学校の魅力を発信するとともに学校選択制希望調査の結果をホームページに掲載しています。

今年度は、学校の魅力発信のための動画配信も予定しており、引き続き、ホームページ等での情報発信を通じ、学校の魅力となる特色ある取組み、課題への対策等を保護者にお伝えできるよう取り組んでまいります。